

第2回 総社市病院施設整備補助事業審査委員会審議議事録

日時：令和5年3月14日（火）

17：00～18：30

場所：総社市保健センター2階 保健指導室

出席：委員7名（うち2名WEB）・事務局

1 あいさつ

副市長あいさつ

委員長あいさつ

2 協議事項

(1) 第1回 審査委員会について

事務局：前回の会議で、議事録は事務局が原案を作成し、委員長と公開内容について協議のうえ、次回の委員会で委員の皆様を確認していただき、公開していくということを決めたところ。その趣旨に従い、第1回議事録を作成し、お手元に配布している。本議事録をご一読いただき、ご意見を頂きたい。なるべく会の状況が伝わるように作成している。

委員長：少し時間を取りたいと思いますので、目を通していただき、ご意見、齟齬がないか等確認いただければと思う。

※時間を取り議事録内容確認

委員長：目を通していただけたかと思うが、委員の皆様から意見等あるか。

委員：議事録の公開、非公開に関する発言記録について、表現の問題かと思うが、より具体的な表現とした方がよいのではないか。

事務局：確認をもう一度行い、修正をしたいと思う。

結 果 その他意見なく、内容について了承いただいたので、修正が出来次第、総社市ホームページで公表。

(2) 対象施設申請内容について

事務局説明

○第1回 審査委員会が出た質疑について、事業者を確認した内容について説明
《二次救急機能について》

事務局：「救急患者の動線をどのように考えているか」という質問だが、申請者に確認を取り、資料にまとめている。患者は、CTやMRIを受ける際は、点滴室や診察室からエレベーターを利用し、CT室やMRI室へ向かうようになる。病院としては、災害に強い病院とすることに重点を置き、水害被害も想定し、災害時もCTやMRIが使用できることを優先した配置としていると

のこと。

また、救急車は救急専用入口より、ウォークインの方は夜間入口から入るようになる。インフルエンザ等で救急患者が多くなった場合は、中待合だけでなく、一般診療の待合室の一部も活用することも考えているとのこと。また、職員の休憩スペースとして、宿直室とは別に、より救急エリアに近いスタッフルームの活用を考えているとのこと。

《健診機能について》

事務局：Aフロアの活用方法だが、こちらは健診機能として活用するとのこと。一部機能については、一般検査でも利用するが、主には健診で使っていくとのこと。

《災害拠点機能》

事務局：「感染症対策室を発熱外来として活用するのか、活用する場合の動線はどのように考えているのか」という質問だが、新型コロナウイルス感染症が多発する状況や新たな感染症が発生した場合の対応を想定して準備している。診察室と前室を準備しており、患者は本棟に入らず、駐車場から直接感染症対策室に入る運用となる。多数の利用がある場合は、医師が常駐して診察する。

《医療機器》

事務局：「超音波診断装置3種類の活用方法」という質問だが、超音波機器は3種類あり、回復期リハビリ等に関する心エコー用、腹部超音波と乳腺用、婦人科検診用の3種類とのこと。「臨床用ポリグラフ」については、必要性を精査中とのこと、確認でき次第報告するとのこと。

《職員配置》

事務局：「常勤医だけで二次救急を常時受け入れるのは難しいのではないかと。人員の計画はどうか」という質問だが、現状から医師を増員し、常勤医を6~7人、医師21人の体制で実施をしていくように計画している。常勤医を中心に最初は1名体制で対応を想定し、必要に応じて順次増やしていくとのこと。不足する場合は外部医師に応援を依頼し、また、看護師も現状に加え10名程度増員していくとのこと。

委員長：前回の委員の質問に対する聞き取り結果について説明を受けたが、質問があるか。

委員：一つ一つ丁寧に対応していただいて、感染症のところについても説明が聞けた。感染症対策室と一般診察室が別々になっていることはデメリットもあるが、メリットの部分も色々あり、説明にあったような具体的な運用を考えら

れていることが理解できた。

委員：メールでも追加で質問させていただいたが、一つひとつ答えていただき、医療機器について、どのような計画で使用するかわかった。臨床用ポリグラフについて、どういう形で使用されるか気になり質問したが、何か利用目的があれば異議があるわけではない。また、人員配置については非常に気がかりで、補助が出て施設ができて非常に良いことだと思う一方、どういう形で人員を配置するのか確認したかったが、計画を立てて進められていることが分かり安心した。

委員：前回聞いていなかったが、人員確保のところで看護師が10人程度増員は了承したが、健診センター機能を充実させていくのに、どういう人員配置をしていくのか。看護師が健診センターを担うのか、その他の職種が担うのかで人員が変わってくるかと思う。臨床検査技師等の技術者についても追加で確認をお願いしたい。

委員：これだけ放射線機器等が充実すると、診療放射線技師が今のままで大丈夫なのか等、心配な点もある。医師、看護師以外の人員配置についても確認をしてもらいたい。

委員：人員のことについて話があったが、健診を受ける人は女性が多く、女性にとっては男性医師に診てもらうのは抵抗があるといった声がある。健診センターで女性の医師等の計画があるのか確認してもらいたい。早期発見、早期治療につながるよう、大勢の方に受診してもらい、受診率向上につなげてもらいたい。

委員：まさに、今回の女性の検診に力を入れるというところでは、女性の診療放射線技師、女性の医師がどれだけいるか気になるところなので、確認を取ってもらいたい。

委員：もうひとつ、人生100年時代であるから、今後高齢者が増えると思う。その時、大病院で入院した後、どのように診療してもらえるのかが気になる。地域包括ケア病床を準備し、増加する高齢者にどのように対応するのかを聞きたい。

委員：地域包括ケア病床を整備することで、今までよりも少し専門的な治療、理学療法士などによるリハビリを中心とした、在宅復帰を目指す病棟になるものと思う。この点、理学療法士の配置なども気になるので確認してもらいたい。

事務局説明

○各フロア図面に従い、6つの機能ごとに説明

○医療機器について説明

質疑（図面関係）

委員：Bエリアから2次救急エリアの前になる前室に抜けることはできるのか。

事務局：Bエリアから前室へは抜けることができるようになっている。

委員：スタッフルームから診療エリアに入るには、Cエリアを通ればあまり患者や待合の人と交差することなく入れるということでよいか。診療エリアの中で職員が一休みする場所があまり見当たらないので、働く職員の動線が気になる。他の病院は、待っていただいている患者の中を突っ切って診療エリアに入らないといけないところもあり、出入りが難しいところがある。

事務局：詳細は確認する。

委員：感染対策上も、患者とスタッフの動線を分けることは重要な点であると思うので、運用面でカバーできると思うが、気になったので伺った。

委員長：その他、質問事項があるか。

委員：初歩的な確認なのだが、産業廃棄物を処分するところは、屋外になるのか、屋内になるのか。点滴とか、採血の医療感染性廃棄物がここに捨てられ、鍵で管理するとなるのか。

事務局：そのようになると思うが、確認する。

委員：気になる点を1点、非常用発電がDフロアに設置され、非常時も問題なく対応できると感じたが、ガスボンベ棟、医ガス棟について、ここの防水対策はどのようになっているのか。万が一、浸水した場合にどのような影響があると考えているか、また機械室も浸水対策をどのように考えているのか確認してもらいたい。非常用電源がDフロアに設置されているので、機械室も同じ場所にすれば別の部屋が広く確保できるようなにも思うが。機械室をこのフロアに設置しなければならない理由があるかもしれないので、確認していただきたい。

委員：健診センターに設置されている更衣室は男女で別れるのか、患者向けか。

事務局：更衣室は健診用と聞いているが確認する。

委員：薬剤室と薬剤庫のフロアが分かれているが、どのように運用するのか。SPDシステムを活用して薬剤を最小限で管理できるようにしていると思うが、薬剤師の負担が大きくなるか。補助対象エリア外となるが気になった点である。

委員：病室について、看護師のスタッフステーションの配置などどうか。エレベーターから上がってきた来客、出ていく患者もフォローできるので、ここがよいかと思われるがどうか。

委員：動線的にはもう少し中央あたりがよいかとも思うが。

委員：一方で、認知症患者の対応や、見舞客のセキュリティーなども監視できる意味では、問題ないかと思う。

委員：大部屋を含めて、医ガスや吸引というのは、全部屋すべて同じ機能か。酸素配管なども考えているのか。

事務局：確認する。

委員：災害拠点病院を意識していただけるのであれば、患者が健診フロアなどに運

び込まれたり、一時待機することを想定した場合、吸引・医ガス・酸素といった設備が整っているのかどうか気になる。当初は待合に必要なかと思ったが、浸水対策を考えると、2階以上に整備されているとよいのではないかと思う。

委員：災害時に、2階以上のフロアに医ガス等が整備され、簡易治療ができるのか、確認していただきたい。

質疑（医療機器関係）

委員：一定程度の治療、診断のために必要な機器を選んであるかと思う。機器の役割も記載されている。一般の方から見ると医療機器の値段について、びっくりされると思うが、これくらいのもので、円安が来るとさらに高くなると思っている。

委員：ホームページから医療機器を確認したが、無駄に高機能のものを挙げているようには見受けられないし、一番安いものを選んでいても思えない。比較的バランスよく選んでいると思う。移動式レントゲン装置を複数台装備する計画としているが、大部屋もあるため、その運用をどのようにするのか確認していただきたい。1台をエレベーターで移動させる手もある一方、病室のあるフロアごとに1台ずつ備える手もあり、運用方法が気になるので。その他特段、不要と思われる医療機器は見受けられなかった。

委員：新しい病院になるということで、最新機器を購入した方が患者のためにもなるが、一方補助金が出されると考えると、現有機器で十分使える機器をどう持っていくのか、どの機器を廃棄するのかなど、リストが作られていると思う。先方の了承が得られるなら、確認するとよいかと思う。当然、補助金ですべてを賄えるわけではないので、効率的な購入を考えていると思うが、新しく購入する機器と合わせて確認してもよいかと思った。

委員長：たくさんの意見をまとめるのが大変かと思うが、聞き取りをお願いしたい。

事務局：各質疑について、事業者を確認を取って報告させていただく。また、今回の審査内容をもとに、第3回で審議していただきたいと思う。